

東久延 議員



一括質問方式

- ①長浜高等学校学生寮
- ②河川防災及び避難対策

長浜高等学校学生寮について

問 長浜高校では入学者が定員の60

名を割る状態が続く、分校化の基準となる41名を割らないか心配している。そのような中、今年より県外から入学できる生徒数の枠を拡大して全国から募集する取り組みが始まった。

そこで、古民家などの空き家を改装した寮をつくり全国から生徒さんに来ていただけるような後押しはできないのか。

答 2月25日時点で長浜高校への入

学志願者数は42人となっており、県立高校の再編整備基準の人数

を上回る状況にひとまず安心していらっしゃるようです。

伊予大洲駅から伊予長浜駅までは平日でJR10便、路線バス7便が運行されている状況から、市内からの通学手段は十分確保されており、地元有志で結成された西村兵太郎先生・絆の会では、下宿先募集の取り組みなど、会員相互の協力体制が確立されています。

また、長浜高校では、遠隔地から入学し一人暮らしとなる生徒に対する必要に応じた指導やバックアップを行うことが可能であると伺っています。

このようなことから、賃貸住宅や下宿を活用していただくことが現実的であり、市における空き家を活用した学生寮の整備は難しいのではないかと考えています。

河川防災及び避難対策について

問 5年後の堤防完成後、7月豪雨

時に鹿野川ダムから放流された最大放流量毎秒3,742トンが本川を越流することなく長浜まで流れしてきた場合、長浜での水位は現在計画している堤防の高さを超えないの

か、決壊などの危険性はないのか。また、長浜大橋は大成橋のような崩落は心配なのか。

答 おおむね5年後には堤防が完成

し、ダム操作の初期放流量が増加するよう見直しが行われることから、最大放流量は抑えられ、7月豪雨であれば全川にわたって越水しなくなると伺っております。

また長浜大橋も、7月豪雨であれば計画高水流量や高潮の水位から余裕高があり、大成橋のように浸水は受けないので、崩落の危険性は少ないと考えています。

なお、堤防決壊などの危険性は、国では重要インフラの緊急点検や河川維持管理計画に基づく定期的な点検を引き続き行い、安全対策に努めていくと伺っています。

問 長浜小学校体育館は老朽化によ

る建設が予定されているが、この場所は山側に近く、校舎とあわせて重要な避難所だと思う。市民の方が避難しやすい体育館にしたいと思うが、現時点でのお考えをお聞きます。

答 長浜小学校の屋内運動場は、児

童の豊かな人間性を育むことが

できる空間整備や安全・安心な施設整備とともに、防災拠点機能の充実を図り災害に強い施設にしたいと考えています。

また、建物の耐震性の確保に加え、天井や照明など非構造部材や設備機器の耐震対策を図るとともに、太陽光発電や蓄電池の設置も検討したいと考えており、避難所としての使用を考慮し、高齢者や障がい者の皆様が利用しやすい施設となるようバリアフリー化を図り、トイレの洋式化や多目的トイレの設置を計画しています。



改築される長浜小学校屋内運動場